

所長あいさつ

うららかな春から初夏の気配を感じるこの頃、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

袋井土木事務所長として3年目の勤務となりました加納です。

昨年4月、東西の大動脈として新東名高速道路が開通し、早や1年が経ちました。管内市町では、この基盤整備をきっかけに、森町を中心とした観光施設では来訪者が増加するなど新たな賑わいを見せています。今後、（仮称）遠州森町スマートインターチェンジが来年3月に開設が予定されていることや、磐田市においても新たなスマートインターチェンジの開設に向けて、近日中に国土交通省へ連結許可申請が行われる見込みとなっていることから、さらなる観光客の増加など経済効果が見込まれます。

また、今年2月には、内陸のフロンティアを拓く取組として、「“ふじのくに” 防災減災・地域成長モデル総合特区」の指定を国から受け、磐田市、袋井市、森町の一部区域においては規制の特例措置等が提案されており、今後予定されている国との協議が注目されています。

このように、当管内は、新たな発展のポテンシャルが高い地域であることから、活力を感じさせるエリアとして注目を集めています。

一方、沿岸地域を取り巻く状況としては、東海、東南海、南海の3連動地震が発生した場合、大規模な被害を被ることが想定され、地震・津波の脅威から地域住民の安全・安心を守るため、津波対策や緊急輸送路の整備など、災害に強い基盤整備が求められています。

今年6月には第4次被害想定が公表される予定であり、これに基づいた新たな整備計画が具体化されるまでの間は、現在、進めている「ふじのくに津波対策アクションプログラム（短期対策編）」に位置づけられている河川堤防の嵩上げなど緊急に取り組む必要がある対策を着実に進めていきます。また、緊急輸送路として指定されている路線等にある橋梁の耐震対策や土砂災害対策等についても並行して進めていきます。

今後も、活力ある基盤づくりと安全で安心な地域づくりについて、国・県・市町等の関係機関と連携し、皆様と一緒に進めていきたいと考えております。

ご意見・ご要望等がありましたら、お気軽に当事務所までお寄せくださいますようお願いいたします。

平成 25 年 4 月 静岡県袋井土木事務所長 加納 章

